子育て支援論

科目ナンバリング　CHS-201
選択必修　　2単位

金子　嘉秀

1. 授業の概要（ねらい）

1）育児不安、虐待など子育て家庭を巡る今日的課題を知り、
また2）子ども・子育て支援新制度をはじめとした子育て家庭を支える社会的制度への理解を深める。

2. 授業の到達目標

1）社会的・制度的背景などを理解し、今日の我が国における子育て支援を捉える視点を養う。
2）個人ワーク、グループワークを通じて、子育てとその支援を巡るトピックに関する知識を深める。
3）支援方法について、社会統計などのデータ・根拠に基づき、論理的に考えることが出来るようになる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の個人ワーク（50%）、グループワーク（50%）により評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
二宮祐子　『子育て支援　15のストーリーで学ぶワークブック』　萌文書林

5. 準備学修の内容

教科書の事例を中心に、適宜資料を配付・参照しつつ検討を行います。
配付された資料や教科書の該当ページについて、
翌週の授業までに読み直して復習を行うこと。

6. その他履修上の注意事項

個人での事例検討や、グループワークなどを通して、
自らの考えをまとめたり、発表するなどして主体的に学びを深めていく科目です。
受講生の皆さんの積極的な授業参加を期待します。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション・子育て支援とは
【第2回】　子育て支援の社会的背景
【第3回】　障がい児や「気になる子」と子育て支援
【第4回】　貧困家庭と子育て支援
【第5回】　一人親家庭と子育て支援
【第6回】　虐待と子育て支援
【第7回】　ステップファミリーと子育て支援
【第8回】　トラブルへの対応について
【第9回】　アレルギーへの対応について
【第10回】　外国籍の保護者対応について
【第11回】　新入園児への配慮について
【第12回】　地域子育て支援拠点とは
【第13回】　トイレトレーニングにおける支援のあり方
【第14回】　子育て支援を巡る時事的課題を考える
【第15回】　まとめ